

動物飼育員



建設局
八木山動物公園
飼育展示課

廣石 光来

東京都多摩市出身
平成29年度採用

八木山動物公園において、主に動物の飼育や健康管理、園内イベントの企画・運営、教育普及活動を行います。動物舎や放飼(ほうし)場の清掃、動物たちへの給餌も大切な仕事です。ほかにも、希少種の繁殖や種の保存事業、調査研究にも従事します。現在の動物園には、福祉や倫理に配慮した飼育や学びの場としての機能が求められており、動物飼育員には多様性が求められています。



憩いの場・学びの場としての動物園。

約120種もの動物を飼育している八木山動物公園は、東北最大級の動物園として、地元住民をはじめ多くの人に親しまれています。アフリカゾウやキリンなどがいる「アフリカ園」、スマトラトラやライオンがいる「猛獣舎」、小動物たちと触れ合える「ふれあいの丘」などのエリアに分かれており、動物飼育員たちはそれぞれ担当する動物たちの飼育管理を行うほか、園内イベントの企



画・運営などを行っています。ゾウやキリンなどの大型動物を担当している廣石さん。安全な飼育管理のためには、動物との信頼関係を築くことが大切だといいます。「特にゾウは頭のいい動物で上下関係もはっきりしているので、私が先輩職

員と同じようにアプローチしても思うようにいきません。先輩のアドバイスを参考にしながら、私なりのアプローチの仕方を模索する必要があります。また、生き物相手の仕事に完全なマニュアルはなく、経験値や判断力、対応力が重要になる場面も多いため、日頃から先輩方の話を聞いたり、動物たちの様子をよく観察したりすることで、いざというときに役立てられるよう知識をストックしておくように心掛けています」。

また、野生動物に関する調査研究や種の保存も動物園の役割の一つ。廣石さんが担当するゾウやキリンは野生での生息数が減少している希少種でもあるため、大学と連携し繁殖に向けた共同研究を行っています。「動物園は、多くの市民に野生動物の実態を知っていただく“学びの場”でもあります。学生時代に何力所か実習に行きましたが、八木山動物公園は市民の憩いの場としての側面と動物の保全活動を両立させているところがとても理想的でした。楽しみながら学べる施設としてより多くの方に活用していただけるよう、イベントやガイドのあり方を工夫しつつ、動物の種類を問わず幅広い知識を身に付けていきたいです」。



One day Schedule

- 8:30 出勤・全体朝礼
- 8:45 動物の放飼、獣舎の清掃
- 11:00 キリンの削蹄トレーニング
- 12:00 昼休憩
- 13:00 エサやり体験イベント対応
- 14:00 調餌
- 14:30 ゾウ収容、馴致
- 15:30 ゾウ展示場清掃
- 16:00 キリン収容、展示場清掃
- 16:30 日誌記入、その他事務作業
- 17:15 退勤

Private

植物が好きで、自宅では60株近くの観葉植物を育てています。そのため休日は植物の手入れやフラワーショップ巡りをすることが多いですね。また、長期休暇で旅行に行くときはその地域の動物園・水族館巡りもします。